

## プロモーション部門

企業名（50音順）	主な取組
<b>エス・エー・エス株式会社</b> （情報通信）	<p>クロスチャネルによる多方面への啓蒙活動を実践した。具体的には、一般社団法人東京都情報産業協会の会合等で東京都の意向や時差Bizの意義を訴え普及に努めるとともに、顧客、協力会社に、営業責任者を主体として時差Bizの参加を呼びかけた。また、従業員に対し代表自ら意義等を直接訴えかけた。この他、快適通勤プロモーション協議会における時差Biz宣言を行い、SNSで拡散させるとともに、テレビ番組で有益性を含めた取組内容を紹介した。</p>
<b>株式会社</b> <b>セブン-イレブン・ジャパン</b> （卸売・小売） <b>【松本零士特別賞】</b>	<p>「快適通勤ムーブメント」の展開により、多くの方の通勤負担が軽減されるとともに、店舗の混雑緩和も期待されることから積極的取組を行うこととした。本社においても出勤時間を変更する取組を行うとともに、「時差Biz」期間中はセブン-イレブン東京都内店舗2,512店で店頭ポスターの掲示による告知、訴求を実施した。店舗においては、混雑時間帯が平準化し売上への影響も確認できた。今後も、お客様に「近くて便利」と感じて頂く取組を継続したい。</p>
<b>東京急行電鉄株式会社</b> （運輸）	<p>お客さまの快適な時差通勤を応援するため、田園都市線で臨時特急列車「時差Bizライナー」を運行し、混雑緩和プロジェクト「グッチョイモーニング」を展開した。「時差Bizライナー」は、オフピーク時間帯に短い所要時間で都心に向かうことができ、新たな取組として注目を集めた。「グッチョイモーニング」は、お客さまが①「乗車時間を選ぶ」②「移動手段を選ぶ」③「働く場所を選ぶ」というコンセプトで、①東急線アプリでのお得なクーポン配信②バスも！キャンペーン③サテライトシェアオフィス「NewWork」の朝利用無料化を実施している。</p>
<b>東京地下鉄株式会社</b> （運輸）	<p>東西線及び半蔵門線において、早朝時間帯に臨時列車（東西線3本、半蔵門線2本）を運行するとともに、例年7月第1週まで実施していた「東西線早起きキャンペーン」を時差Biz期間に合わせ、7月31日（月）まで期間拡大で実施。また、東西線早起きキャンペーン時間帯及びピーク時間帯の混雑状況を「駅毎、列車毎、車両毎」に色別で表示した。</p>